

第4回 福井市下水道事業経営戦略策定審議委員会 議事録

日 時	令和4年2月14日(月) 14:00~15:10	
場 所	企業局 301会議室	
出席者	<p><委員> 南保委員長 田村委員 寺尾委員 林委員 吉澤委員(リモート出席)</p> <p><企業局> 土田経営部長 海道事業部長 朝倉経営部次長 竹澤事業部次長 経営管理課(荒谷課長 廣瀬副課長 白崎課長補佐 松村主幹 北矢主幹 伊藤剛主査 小松主査 塩谷主幹) 上下水道サービス課(高村課長) 下水管路課(前田課長) 下水施設課(内田課長)</p>	
会議録 1 議題1・2	委員	<p>◎1 パブリック・コメントの募集結果について ◎2 経営戦略(素案)への反映について ～事務局から説明後、質疑応答～</p> <p>基本的には市の考え方でよいと思う。 パブリック・コメントの意見No.1について、本文には「整合」とだけ書かれているため、イメージ図の「整合」と「反映」という言葉を明確に分けて書いているのかが気になった。 それで、意見のことも踏まえ、イメージ図の左側の「福井市污水处理施設整備基本構想」と、右側の「福井市下水道ストックマネジメント計画」を縦に2つ並べ、下に「…」と書いて他にもいくつか計画があることが分かる図にするか、「…」の代わりに「等」と書いてもよいと思った。本文には「等」と書いてあるため、他にも計画があることが分かるが、図になると2つしか書いてないので、こういう意見が出たのではないか。 また、これは修正ではないが、市民に経営状況についても関心を持ってもらうため、毎年度の状況を市民に説明する(フォローアップ)際には、分かりやすく示すという意味で、意見No.4にあるように、枠の大きさなどで分かりやすくするなど、見栄えにも注意しながら取り組まれたらよいと思う。今回の経営戦略では、単年度ごとではなく複数年度をまとめて出すため、図としては示しにくいので、市の考え方のおりでよいと思う。今後の市民への分かりやすい説明という中で、意見のようなこともぜひ考えて説明してほしい。</p>
	委員	<p>「ですます調」と「である調」が混ざっているので、統一した方がよい。ただし、37ページの用語の解説は、「～のこと」のままでよい。</p>

2 その他	委員	ただいまの意見を踏まえた素案の修正については、事務局と協議のうえ、委員長判断で修正してよいか。
	委員	異議なし。
	委員	それでは、 <u>事務局と協議のうえ、委員長判断で修正したものを最終案とする。</u>
	事務局	◎ 提言書について 委員の意見をまとめ、提言書として企業管理者へ提出していただく。この提言書について協議いただきたい。
	委員	最終的に提言書という形で委員会から市に提出する。これについて何か意見はあるか。もし、意見等がなければ、これまでの委員会において、いい意見をいただいていることから、提言書の作成については私に一任していただくということでよいか。
	委員	異議なし。
	委員	それでは、 <u>提言書については委員長に一任ということを進める。</u>
	事務局	今後のスケジュールとしては、3月15日 14時から、企業管理者室にて委員長から提言をいただく予定である。
	委員	委員会は今回で最後になるため、委員の皆様から意見、感想など一言ずついただきたい。
	委員	改めて私が住んでいる福井市の状況についてよく理解できた。これを機会に、ぜひ市民の皆様にも興味を持っていただき、よりよい形になっていけばと思う。
委員	委員会に関わらせていただいてから、加茂河原ポンプ場が気になるようになった。大々的な工事を見て、事業についても納得できた。 下水道は生活に直結している。この委員会が再確認の場になり、下水道や上水道事業に対する思いが深くなった。市民も考えていけないといけないし、市民への周知も大事だと思った。	
委員	下水道事業は企業会計の中でも重要なポジションにある。災害時は早い復旧が求められ、水道も含めインフラの中でも特に重要な施設である。 福井市は、震災復興後70年余り、下水道事業を行ってきて、今後も安定した経営を続けていくためには、こういった議論が非常に重要である。自分の子供たちにも、下水道事業が大事であることを伝えている。市も大変だが、一丸となって市民に周知し、気持ちよく仕事を進めていただけたらと思う。	

	委員	<p>下水道事業は、維持管理や更新が本格的な時代になってきている。まさに造ったら終わりではない。機能を維持していくために、日頃の維持管理、点検や調査、改築が必要であることを、引き続き市民に理解してもらえるよう努力してもらいたい。</p> <p>経営戦略も造ったら終わりではなく、毎年度の振り返り、フォローアップをしっかりとやっていただければと期待している。</p>
	委員	<p>将来に向けてのいい経営戦略ができたと思う。</p> <p>今までのように行政サービスは、行政から与えられるものだけでなく、逆に市民も行政サービスの中身をよく理解し、双方向で情報や技術などいろいろなものを共有し合いながら、一緒になって進めていくものだと思う。今回の経営戦略もその一つだと思う。供給者側も需要者側もお互いが理解し、前に一歩ずつ進めていくということで、これからますます経営戦略の役割が重要になっていくと思う。次の改定するときも、同じように経営戦略を練り上げていかれると思うが、今回私たちが関わったこの経営戦略がそのときに役立てば嬉しい。</p>